

(4) 第三者モニタリング・評価により把握された内容及び対応策（様式）

指定管理者制度導入施設の第三者モニタリング・評価により把握された内容及び対応策（令和6年度）

1 概要

施設名	吹田歴史文化まちづくりセンター	所管部室課名	都市魅力部文化スポーツ推進室
実施日時	令和7年1月21日（火曜日） 15:00～17:00	実施場所	吹田歴史文化まちづくりセンター 会議室

2 助言等の内容及び対応策

No.	助言等の内容	対応策	評価項目
1	市と協議して経理等の専門的スキルを持った人の採用にあたり賃金を上乗せする仕組みづくりや、人材育成（ボランティア、専門性を持つスタッフの獲得）への取組みに期待したい。 今後ボランティア人材が高齢化していく中で、中長期的にどのように確保するかが課題である。	経理業務等の専門的な人材については、様々な募集ツールを用いて確保に努めるとともに、適正のある事務員への教育等の方法を検討していく。 また、ボランティアについては中長期的に安定した人材の確保を行うために学生の参加等を推進していく。	1 管理運営内容 (1)事業運営 (2)経費縮減
	さらなる省エネ対策（CO2削減）に寄与して欲しい。省エネの為のLED化は評価できる一方、設備更新に伴う歴史・文化施設の見せ方についても検討されたい。	古民家として、合理的な運用のみを追求して趣きが損なわれないよう、慎重に市と指定管理者とで協議し、今後も適切な施設管理を行っていく。	1 管理運営内容 (2)経費縮減 (3)環境配慮
2	地域南部にある中で中部・北部とも連携し、市全域での展開に努力しており、加えてYouTubeやInstagramのリアル・ストーリー等SNSの活用が進んでおり、積極的な試行錯誤は評価できる。再生回数を伸ばすことが今後の課題である。 海外で口コミにより来館される方もいる中で、国際化についての対応にも少しずつ取り組んでいる。利用者の満足度を高めるための魅力アピールのさらなる工夫に期待したい。	他公共機関等との連携により市内全域で展開する事業を推進する。 SNS等の活用については、内容の充実や効果的なタイミングにより再生回数の増加を目指す。 また、海外の方の来館や国際交流への取組について、窓口での対応や関係機関との連携をさらに推進する。	2 利用者満足度 (1)利用者対応 (2)利用者サービス
3	昨今の自然災害の深刻さに鑑みて、防災に対する意識を持つておくことも大事と考える。防災の広報啓発について、より効果的に運営できるように地域連携を進めて行くことを期待したい。	自然災害発災時に避難所への誘導など適切な対応ができるよう、情報共有等に努める。	3 サービス提供の継続性及び安定性 (1)施設の管理運営に係る経営状況
	最低賃金の増加等による人件費の増加を見込んだ、指定管理期間中の指定管理料の確保について市と協議して欲しい。自主財源の活用を具体的に実現し、魅力度アップを期待したい。 余裕資金について、運用しなければ賃金上昇をまかなえない可能性もある。適切だと思う賃金や、資金繰り・資金運用について、管理者内で検討、把握の必要性についても検討してみてもどうか。	次期指定管理期間では、最低賃金上昇を見込んだ年度ごとに逦増する形で5年間の債務負担行為を設定し実運用に即した形で予算を計上している。 また、資金の運用については、他施設などの状況も参考にして必要があれば検討していく。	3 サービス提供の継続性及び安定性 (2)指定管理者の財務状況